



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 兵機海運株式会社

上場取引所 東

コード番号 9362 URL <http://www.hyoki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大東 洋治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 田中 康博

TEL 078-940-2351

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,439	10.6	186	747.0	151	—	123	—
25年3月期第3四半期	9,439	△4.4	22	△82.2	△22	—	△45	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 259百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △63百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	10.47	—
25年3月期第3四半期	△3.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	13,313	1,892	14.2	159.86
25年3月期	11,619	1,656	14.3	139.94

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 1,892百万円 25年3月期 1,656百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	2.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期の配当金額は未定であります。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	10.9	220	329.2	140	147.8	10	15.6	0.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 1社 (社名) 長門海運株式会社、除外 1社 (社名) 株式会社シンパ  
 (注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 (注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	12,240,000 株	25年3月期	12,240,000 株
26年3月期3Q	404,053 株	25年3月期	403,417 株
26年3月期3Q	11,836,250 株	25年3月期3Q	11,854,322 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀一体となった財政・金融政策を背景に、円安・株高基調に転じた結果、輸出環境・個人消費に改善傾向が見られ、企業業績の回復とともに景気回復への足取りが強まってきております。一方で、欧州諸国の財政問題や中国の景気停滞など海外経済の下振れへの不安、平成26年4月の消費税増税による個人消費への影響が懸念されるなど依然として国内経済の先行きは不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社グループは「安全・迅速・信頼」をモットーに、総合物流業者として社会的貢献を目的として営業展開を行いました。その結果、事業別の業績は以下のとおりであります。

内航事業では、復興需要と公共事業の増加により主要荷主である鉄鋼メーカーの取扱量が増大したことと、またそれにより、備船の運航効率が改善したことなどから、売上高4,927百万円（前年同期比27.7%増）、営業利益249百万円（前年同期は16百万円の営業利益）と大幅な増収増益となりました。また、外航事業にありましては、インドネシア・シンガポールに駐在員を送るなど、東南アジアを基軸とした積極的な集荷営業を進めてまいりましたが、社船売却による取扱量の減少と、海外展開による管理経費の増加もあり、売上高756百万円（前年同期比22.9%減）、営業損失191百万円（前年同期は155百万円の営業損失）となりました。

港運事業では、輸出入ともに取扱量が回復傾向にあることから、売上高3,826百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益142百万円（前年同期比6.9%増）となりました。倉庫事業では、姫路倉庫の荷主の取扱量の減少がありましたが、吸収合併を行った株式会社シンパの取扱量が増加したこともあり増収となるものの、一時的な経費や人件費を吸収できず、売上高922百万円（前年同期比4.9%増）、営業損失13百万円（前年同期は26百万円の営業利益）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高10,439百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益186百万円（前年同期比747.0%増）、経常利益151百万円（前年同期は経常損失22百万円）、四半期純利益は123百万円（前年同期は四半期純損失45百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産の部では、流動資産は4,112百万円となり、前連結会計年度末と比較して613百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加370百万円、売掛金の増加158百万円及び受取手形の減少27百万円等によるものであります。固定資産は9,201百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,080百万円増加いたしました。これは主に、株式会社シンパを吸収合併したこと等による建物の増加242百万円、船舶を取得したことによる増加1,028百万円、投資有価証券の時価評価の上昇等による増加187百万円に対して、船舶を売却したことによる減少226百万円、建設仮勘定より船舶に振替えた為の減少157百万円、減価償却による固定資産の減少335百万円等によるものであります。

負債の部では、流動負債は5,976百万円となり、前連結会計年度末と比較して524百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金の増加422百万円、未払法人税等の増加53百万円に対して、未払消費税28百万円、未払金17百万円等が減少したことによるものであります。固定負債は5,445百万円となり、前連結会計年度末と比較して934百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加984百万円等に対して、債務保証の履行による債務保証損失引当金の減少55百万円等によるものであります。

純資産の部は、1,892百万円となり、前連結会計年度末と比較して235百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金100百万円、その他有価証券評価差額金119百万円等が増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、株式会社シンパの全株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。また、平成25年10月1日付で当社を存続会社として吸収合併したことにより当第3四半期連結会計期間より株式会社シンパを連結の範囲から除外しております。

平成25年12月31日付で長門海運株式会社の全株式を取得し子会社化したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,545	1,915
受取手形及び売掛金	1,642	1,773
原材料及び貯蔵品	56	75
前払費用	23	82
その他	247	278
貸倒引当金	△16	△14
流動資産合計	3,498	4,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び建物付属設備	4,462	4,703
減価償却累計額	△1,752	△1,868
建物及び建物付属設備(純額)	2,710	2,835
船舶	3,310	4,103
減価償却累計額	△1,323	△1,465
船舶(純額)	1,986	2,637
土地	1,623	1,623
その他	450	490
減価償却累計額	△352	△366
その他(純額)	98	123
建設仮勘定	157	13
有形固定資産合計	6,576	7,233
無形固定資産		
その他	30	157
無形固定資産合計	30	157
投資その他の資産		
投資有価証券	965	1,168
その他	557	651
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	1,513	1,810
固定資産合計	8,121	9,201
資産合計	11,619	13,313

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,269	1,313
短期借入金	4,026	4,448
未払法人税等	4	58
賞与引当金	3	0
その他	148	154
流動負債合計	5,451	5,976
固定負債		
長期借入金	3,849	4,833
退職給付引当金	262	277
債務保証損失引当金	120	65
船舶修繕引当金	123	123
その他	155	145
固定負債合計	4,510	5,445
負債合計	9,962	11,421
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	612	612
資本剰余金	33	33
利益剰余金	1,026	1,126
自己株式	△92	△92
株主資本合計	1,579	1,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	158	277
繰延ヘッジ損益	△81	△65
その他の包括利益累計額合計	76	212
純資産合計	1,656	1,892
負債純資産合計	11,619	13,313

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	9,439	10,439
売上原価	8,328	9,116
売上総利益	1,111	1,322
販売費及び一般管理費	1,089	1,135
営業利益	22	186
営業外収益		
受取利息	11	8
受取配当金	16	15
持分法による投資利益	5	15
貸倒引当金戻入額	22	1
その他	24	18
営業外収益合計	79	59
営業外費用		
支払利息	103	90
その他	20	3
営業外費用合計	124	94
経常利益又は経常損失(△)	△22	151
特別利益		
負ののれん発生益	—	86
その他	—	12
特別利益合計	—	98
特別損失		
固定資産売却損	—	69
船舶修繕費	29	—
その他	—	0
特別損失合計	29	69
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△52	180
法人税等	△7	56
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△45	123
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△45	123



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△45	123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	118
繰延ヘッジ損益	△2	16
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△18	135
四半期包括利益	△63	259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△63	259
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。